

令和6年度第2回健康計画推進委員会会議録

日 時	令和6年11月28日（木）13時30分～15時
場 所	大栄農村環境改善センター 大会議室
出席者	<p>【委員】（敬称略） 仲、大坂、村岡、新名、浜根、田村、平信、藤友、竹原、荒木、坂本 11名（欠席5名）</p> <p>【事務局】 前田課長、木村室長、前田</p>
<p>1. 開会 2. あいさつ 健康推進課 前田課長 3. 報告 (1)令和6年度事業について（P1～4） (2)健康計画6つの項目に対する行政の取り組み(P5～9) ※(1)(2)をあわせて説明</p> <p>①特定健診および各種がん検診の受診状況、がん発見の推移 ・集団健診は予約制、受付時間を分散して実施。予約方法にWEB予約を追加し、利用率は集団健診受診者の15%。集団健診受診者は増加傾向。セット受診者が増加。 ・受診勧奨は、町報・放送・通知・電話などで実施。 ・大腸がん検診は、自治会放送・チラシの配布も実施。より受診しやすい体制に向けて検討中。</p> <p>②運動習慣の定着 ・運動教室として、北栄スポーツクラブと連携しバランスボールとノルディックウォークを実施。色々な方が参加できるよう曜日・時間など計画を立てた。バランスボール17名、ノルディックウォーク10名、計27名の参加があった。</p> <p>③健全な食生活 ・各園での食育年間計画に基づき食育を実施。3園で食生活改善推進員と連携して子供が主役のクッキング活動を実施。 ・小学生6年生の弁当の日の取り組みを小学校栄養教諭、食生活改善推進員と連携し、1月に実施予定。弁当の日の事業は今年度で終了。 ・食生活改善推進員養成講座を開催。受講者13人。 ・低栄養について出前講座を7自治会1団体で実施。来年度も継続実施。</p> <p>④心の健康づくり ・食生活推進養成講座でゲートキーパー研修を実施。R7年度については未定。</p> <p>⑤歯と口の健康づくり ・妊婦歯科健診は受診率46.3%。 ・歯周病予防事業としてふしめ歯科検診を実施。20歳から70歳まで10歳毎に刻んで受診可能。受診率1.7%。今後、未受診者へ受診勧奨予定。 ・個別歯科相談を、健診会場で355人に実施。受診者ほぼ全員に声かけている。</p> <p>⑥喫煙・飲酒対策 ・健診時や母子手帳交付時に指導実施。</p> <p>⑦生活習慣病の早期発見・早期治療 ・健診後の支援として、特定健診受診後に保健指導を実施。実施率伸び悩んでおり、R7年度は集団健診の会場で初回面接を実施する事を検討中。 ・ヘルスアップ教室は対象者360人。みらい内科クリニック山本院長の講座を33人が受講。三朝温泉病院の管理栄養士・理学療法士の講座は22名の参加。 ・健活教室を新規実施。健診結果説明と活用についての講座。長寿健診対象者10</p>	

人、特定健診対象者 8 名の受講。

- ・保健事業と介護予防の一体的実施事業は今年度 2 年目の取り組み。後期高齢者の方を対象に、ハイリスクアプローチでは、それぞれのテーマを決めて対象者を選定し、訪問などの個別アプローチを実施。ポピュレーションアプローチでは、通いの場への積極的に関与。次年度においても、実施方法を検討しながら進める。
- ・生活習慣病予防として中学 3 年生を対象にピロリ菌検査実施。今年度の初回の検査の受診率 79.3%。陽性者には除菌治療を実施。
- ・健康講座の実施状況は P4 のとおり。9 つのテーマで講座を実施し 63 自治会中 34 自治会で実施。関心をもってもらえるよう、テーマなどを検討する。
- ・血圧講演会は、河本先生を講師とし、12 月 4 日に実施予定。現在 70 名申込み。
- ・ポイントラリーは、頑張りカードの実践など自主的な取り組みにつながっている。

#### 【意見等】

(委員) 健活教室について初めて知った。対象者は町の健診受診者のみか。どういった教室か？

(事務局) 健診会場や町報、健康講座などで周知しており、対象者は町の健診受診者に限らない。健診結果を持参してもらい、検査結果の説明と改善策を、検査項目ごとにお伝えしていく内容。また、自宅でできる運動の紹介や、薄味の食事の試食を行った。

(委員) 高齢者向けの教室は送迎があれば参加者が増えるのでは。

(委員) 運動教室は毎年、同じような内容で開催？参加人数に対し職員の人数は？

(事務局) 運動の習慣化をめざし毎年開催。比較的、運動不足になりやすい中高年の方が主なターゲットで、平日の夜間や休日の開催をしている。参加の対象年齢はしばっていない。来年度に向けて、効果的な実施となるよう日程や内容の検討を行う。

(委員) 若い方向けの周知方法として、町報以外に SNS を使ってはどうか。回数券がもらえるのも良いと思う。

運動教室は B&G でも定期的に行っている。共同してはどうか？

(事務局) 平日の午前中開催であり、時間がとれる方は利用されていると思う。若い方を対象と考えると共同実施は困難。

(委員) ふしめ歯科検診の受診率が低いですが、受診率向上の取り組みはできないか？

歯周病検査キットによる口腔環境のチェックやスクレーピングの無料実施やハミガキセットのプレゼントなど。

#### (3)各組織・団体の取り組みについて (P9)

##### ○小学校

- ・今年は歯とお口の健康に力を入れた。治療率の目標値 60%のところ、現在 48%。冬休みの受診につながるよう呼びかける。児童全員で歯みがきカレンダーを実施。朝昼晩と毎日歯みがきをしている児童は数十名。昼の歯みがきをしない児童が多かった。保健委員会から、フロスの使い方、正しい歯みがきの仕方について説明してもらった。

##### ○小学校 PTA

- ・健康推進では年 2 回、研修会を実施。夏に仲医師を講師に招き、親子でフロスの使い方など口の健康について研修会を実施した。

##### ○こども園

- ・今年はフッ化物洗口を実施。4~5 歳になるとむし歯が増える。毎年、園の歯科健診を行うが同じ子のむし歯が増えている。

##### ○老人クラブ連合会

- ・コロナで活動が減っていたが、今年は従来通りに実施。フレイル予防についての

研修会を実施。口の健康は、むし歯だけではなく臓器にも影響する事を知った。新しい感覚、知識を取り入れていきたい。

○JA 大栄支所

- ・年1回健診を実施。パートやアルバイトの方は実費負担。人間ドックは無料で受ける事ができる。また、農業従事者の人間ドック助成も行っている。申込制で実施しており、周知が不足しているかもしれない。長時間労働者には大津医師による面談を実施。

○商工会

- ・減塩を考える機会として味噌玉を作った。またカラー診断などの研修を実施。来年度はInBody測定を行いたいと考えている。

○食生活改善連絡協議会

- ・健診会場（大栄・北条）で「野菜を350g食べましょう」と呼びかけた。12月中旬にフレイル予防の研修会実施予定。

○住民代表

- ・東園浜では、自治会で健康ウォークを開催。幼児から高齢者まで多数参加。
- ・大腸がん検診が変更になった戸惑いの声が聞こえてきている。長い間行ってきた取り組みを変更する事は大変だと思うが、この変更の目的は受診率向上だったのか？→(4)その他で回答

○自治会長会

- ・主に心の健康に取り組んでいる。高齢者の方が困らないようにいきいきサロンを開催。バスで外出したり、昼食を一緒にとりながら情報交換をする場を設けている。継続して、人と人の繋がりを大事にしたい。

○健康推進員会

- ・集団健診や健康講座の前は、複数回自治会放送を実施。
- ・健康講座の開催においては、各自治会などでテーマなどを選んで実施したが、あわせて食推さんと協力して、塩分濃度測定の実施なども行った。工夫はしているが、参加人数や年齢層を広げる事は難しかった。来年度に向けてアンケートの実施などニーズの確認をしてはどうかと思う。

(4)その他

①大腸がん検診について

○変更の目的は受診率の向上だったのか？

目的は、受診率のさらなる向上ではない。健康診査・肺・胃がん検診などは受けず、大腸がん検診しか受けておられない方が1/3おられた。職場で他の検診を受けておられる方もあったと思うが、健診会場を変更する事で他の検診もあわせて受けていただく事が目的の一つ。また、精検の受診率が6~7割と低く、検診の精度が低い状態であった。医療機関で受診する事で、精検にもつながりやすくなるのではと考えた。

方法を変更したことで、単独受診だった方の受診が低迷している。また、これまで受診されていなかった方の受診や、これまで単独受診だった方のセット受診にもつながっている。しかし、全体的な受診率は低下しているため、来年度は代理受診の再開を考えている。また、検体回収場所の増加を検討。健診当日に検体の回収をする事も検討していたが難しそう。

前回の会議で助言をいただき、健康推進員による自治会放送やチラシの全戸配布を行った。健康推進員による放送は町放送より反応がよく、検診の予約や大腸がん検診の受診者数の増加につながった。自治会放送は来年度も継続してほしい。

事務局の事情をお伝えすると、システムの標準化によりこれまで外部委託していた業務が委託できなくなる事もあり、先に話した目的もあり、方法を変更した。

→(委員)健康推進員に戻す事自体は難しいのでは。現在、高齢化により自治会の役も人手不足であったり、例えば除雪にしても頼める先が減っている。自分たちでも何とか考

えていかないといけない事もあるだろうし、事務局の方でも、いいアイデアをもらって改善していってほしい。

- 大腸がんの検体は必ず冷蔵庫に入れる必要があるか？抵抗があるのだが。  
検査の委託先の保健事業団からは、28度以下で保存の指示。気温の下限はない。

#### 4. その他

##### (1) 今後の予定について

- ・ R4～11 年度までの 8 年間の計画に基づき取り組んでいるところ。R8 年度が中間の見直しの年となるため、来年度、中間アンケートを実施する予定。
- ・ 現委員の任期は、来年 5 月 31 日まで。
- ・ 来年度の第 1 回委員会は 8 月に予定しているが、アンケートについて、任期中に意見を伺うかもしれない。

##### (2) 仲歯科医師よりコメント

- ・ 東園浜の田中陽子さんが、高齢者のよい歯のコンクールで入賞された。
- ・ 8020 運動により、80 歳における歯の残数 20 本以上の割合は高くなったが、65 歳以上のむし歯が増えている。健診を受けて終わりではなく、その歯やかむ機能が維持できるようにしていく事が大事。
- ・ 子どもについては、フッ化物洗口などもあり、むし歯の罹患率は低下しているが、口腔機能の発達不全が増えている。子ども時代の姿勢が大事。
- ・ 高齢者の方を 1 人にしないように、送迎バスも一つだが、自治会などでも誘い合っていくとよいのでは。